



比叡3番ホール

|ゴルフ場探訪|

名神八日市カントリー倶楽部 (滋賀県)

半世紀の歴史と伝統に磨かれた重厚なクラブライフは関西エリアではトップクラス
4度のメジャートーナメントの舞台を経験した完成度はプレー性に優れ、満足度が高い



比叡9番ホール



鈴鹿3番ホール



レストラン



鈴鹿5番ホール

2015年5月開催、第81回「関西オープンゴルフ選手権」の舞台に 開場50周年とともに磨き抜かれたメンバーシップ制倶楽部の系譜

開場は1965年(昭和40年)10月22日。滋賀県で3番目のコースとして誕生して以来、今秋開場50周年を迎える古豪のコース。日本女子プロゴルフ選手権大会(2005年)、日本女子オープンゴルフ選手権競技(1992年)をはじめ過去4度のメジャートーナメントの舞台となった実績が物語るように完成度の高いレイアウトを誇るコースだ。

コースが位置するのは滋賀県東近江市石塔町の緩丘陵地の一角。名神高速道路の八日市インターチェンジより約5キロメートルとアクセスも良く、阪神エリアや名古屋方面からのゴルファーも多い。

設計は、自然をキャンバスに大胆かつ精緻なデザインを描くことで著名な相馬正胤氏。比叡、伊吹、鈴鹿の3コースで構成される全27ホールは、それぞれが個性的な表情でゴルファーに語り



かけプレーに飽きを感じさせない。全体的にフラットな地形を活かしフェアウェイも広く取られているためプレーしやす。各ホールは敷地内に約10万本あるといわれる赤松でセパレートされ、林間コースの趣が楽しめる。自然のトラップや造形美がプレーを面白くさせるホールも多く、ビギナーから上級者まで多くの戦略ルートが設けられているのも人気の要因だ。グリーンやティエグランドのメンテナンスもよく、関西オープン開催に向けさらにコースコンディションの整備にも磨きがかかっている。

2006年にはクラブハウス及びコース内諸施設の全面リニューアルも実施され、より快適なクラブライフが楽しめるようになった。クラブハウスでは、レディース用のロッカーやバスルームも広々としており、高級ブランドのアメニティセットが用意され女性ゴルファーからも高い評価を得ている。乗用カートの利用は可。但しフェアウェイの乗り入れは出来ません。



バスルーム

コースデータ

- コース規模Ⅱ27ホール・10091Y・P108 (比叡3462Y・鈴鹿3374Y) 伊吹3255Y)
- グリーンⅡベント2グリーン、85フィート以上
- 練習場Ⅱ230Y・13打席
- 交通Ⅱ名神高速道路八日市インターより5km、JR東海道本線近江八幡駅よりタクシーで約25分 ※クラブバスはなし

開場50周年を記念して期間限定で「名義変更料半額および夫婦入会キャンペーン」を実施

開場50周年記念事業の一環として、期間限定で左記の要項で入会キャンペーンを実施中。

期間：平成27年4月1日(水)

～平成28年2月29日(月)まで

適用料金…

- 第三者からの名義変更
通常540,000円→半額270,000円(内消費税20,000円含む)
- 夫婦で入会する場合
名義変更料を2名合わせて378,000円(内消費税28,000円含む)